

淀川工科高校 工学系 大学進学専科における取り組み

大阪府立淀川工科高校 向山友彦

1. はじめに

淀川工科高校は『生徒が主役』をモットーに、昨年創立 80 周年を迎えた大阪府の工業高校である。これまで、約 8 割の生徒が就職し、高い内定率と活発な部活動が特色である。

大阪府のものづくり教育活性化の一環として、「高大連携重点型」の淀川工科高校では、2014 年度より「工学系大学進学専科」がスタートした。主に理工系大学への進学を視野に入れ、技術と理論を兼ね備えた「将来の高度技術者」の育成に重点を置いた専科である。2018 年春には 2 期生が卒業した。

2. 工学系の教育課程

<普通科目>

英語、数学、理科の充実重点をおく

- ①多くの科目で展開授業を実現
- ②習熟度別の展開授業 [英・数]
- ③自由選択科目 [英・数] @7 限目

※難易度の高い発展的な内容とする



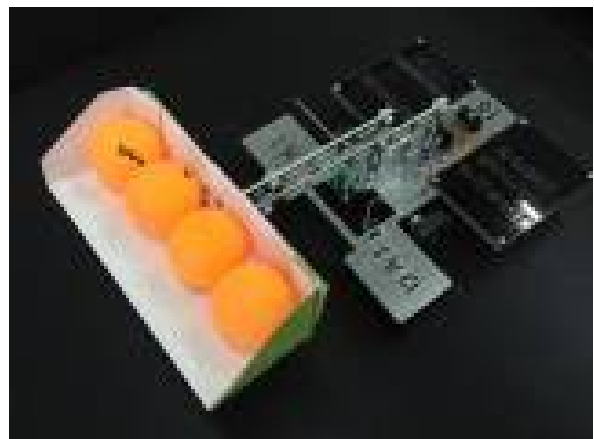
<専門科目>

ほとんどが「実習+実技を伴う科目」

- ①実習時間：工学系以外の系と同じ
- ②内容：機械・電気・情報の 3 分野
- ③実習ショップ終了時に「筆記テスト」
- ④資格取得の推進：必須受験を課す
(計算・情報技術、P 検、基礎製図)

表. 専門科目単位数の比較

系	機械	電気	刃口	工学
実習	18			18
実技 伴う	11-16	4-6	10	5-8
座学	8-11	11-20	12-16	2
合計	40-44			25-28



3. 進路指導・大学連携

- ①進路指導部に進学支援担当者を配置
- ②家庭学習の定着と学力向上
 - ・外部試験（ベネッセ）の利用
 - ・長期休業明けごとの「宿題考査」

③大学連携

※近隣5大学と連携協定締結

※協定を生かした特別プログラム

・1年次：計30時間の「大学見学」
土曜、夏休みを利用（必修）

・2、3年次：研究室訪問・授業聴講

※課題研究では大学から技術指導を受け大会に出場



④受験対策特別講習

・数学検定：春・夏休みに特別講習

・専門高校入試対策：9月～10月

（英語2回/週、数学2回/週）



4. 課外活動

課外活動と学習時間の確保と両立

表. クラブ加入率の変化

1期生	2期生	3期生	4期生
59%	42%	53%	78%

5. 進路実績

工業高校生に有利な入試方式を活用

※工科推薦、指定校、専門高校入試等

<主な進学先>

大阪教育大学 関西大学 立命館大学

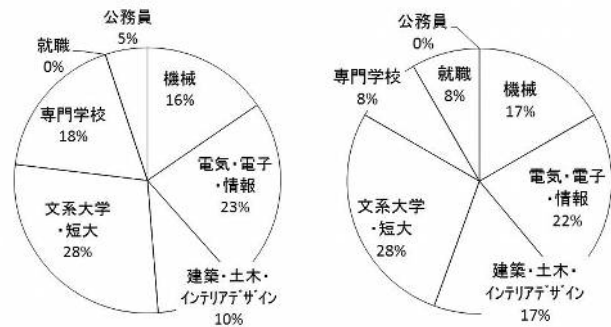
近畿大学 龍谷大学 大阪工業大学

大阪電気通信大学 摂南大学

大阪産業大学 関西外国語大学

大阪府立大高専 近畿大学高専 等

<進路の内訳>



1期生

2期生

7. 生徒の声

- ・学校生活の満足度は概ね高い
- ・工学系独自の取り組み（大学連携、資格取得等）は概ね好評である
- ・クラス替えがないことにも肯定的
- ・入学時には、専門、英語、数学に不安を持っている者が多い

8. 今後の課題・検討事項

①学習支援の更なる充実

進路実現に向けたサポート体制の強化

②工学分野への進学者を増やす

③評定平均値中位層への進学指導

④カリキュラムの再検討

入試の履修条件や多様な希望に沿う